

令和 6 年 10 月

薬草園だより

10月は、冬作の播種や植え付けのピークです。ベジ部でも、冬作のために畑の耕運、施肥、播種を行いました。

ところで、植物には成長に最適な酸性度（pH）があることを知っていますか？多くの植物は土壌 pH 6.0～6.5 が良いとされています。



写真は現在の畑の様子です。ハクサイやニラの苗、ソラマメやホウレンソウの種が植えてあります。

植え付け前には肥料を入れています。入れた肥料は遅効性肥料であり、ゆっくりと効果が現れます。本来は1～2週間程度あけてから植えたほうが良いですが、今回は時期が少し遅いため、施肥後すぐに植え付けをしました。



アジサイの花色が土壌の pH の影響を受けると聞いたことはないでしょうか。アジサイの花色にはアントシアニンと言われる赤色色素と、土壌に含まれる金属のアルミニウムが関わっています。土壌が酸性になるとアルミニウムはイオンとなって土壌に溶け出し、アジサイに吸収されてアントシアニンと結合し、花色は青色になります。一方、中性やアルカリ性だとアルミニウムが土壌に溶け出さないため、アントシアニンそのものの赤色になる、というわけです。

このアントシアニンの性質をうまく使っているのがナスの漬物で、漬物を作る際に加える鉄くぎやミョウバン（硫酸カリウムアルミニウム）は、これらに含まれる鉄やアルミニウムイオンがアントシアニンと結合して安定化させているのです。

上の写真はベジ部の畑の pH を測定しているところです。計測したところ、6.6 となりました。